



きっしょういいん 冬

- 新年のご挨拶
市政も病院もリニューアル
- 創立60周年特別企画
吉祥院病院の歴史(上)
- 震災支援に参加して

新年のごあいさつ



日頃は病院の医療活動に多大なご協力を頂きありがとうございます。今年はリニューアル工事が本格化します。ご不便をおかけしますが、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。私事ながら今年で定年を迎えます。これまでお世話になった皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

看護部長 高谷 順子



税と社会保障の一体改革で医療も患者さんの暮らしも大変になります。今年はぜひ、そんな国民いじめの政治を変える転換の年にしたいものですね。



副看護部長 竹永 百合子



2階病棟が引っ越しして、病棟はすこし寂しくなりましたが、新しくきれいな病棟できもちよく療養できる環境を作っていきたいと思います。



2階病棟が引っ越した中央病院西館
3階病棟師長 豊田 園子



病院で働いてもうすぐ2年になります。まだまだ勉強の毎日です。みなさんからご指摘や励ましの言葉をいただくことがあります。それが頑張ろうという力の源にもなっており、本当にありがたいと感じています。今年もみなさんの笑顔や健康な姿をたくさんみたい！そのために私も「悩む時間：笑顔で前向きな時間＝2：8」を目標に、事務職員として成長できるようまた1年頑張りたいと思います。

医事課 高坂絵莉子



昨年10月に上京病院から吉祥院病院に異動となりました。スポーツ、読書、音楽鑑賞など、日々の生活に追われながらも出来るだけ自分の時間をつくり楽しんでます。

秋の共同組織拡大月間では活発な活動に会員皆さんの団結力を感じ、また会員拡大の大切さを改めて実感しました。新しい環境に早く慣れ自分の力を発揮していきたいです。

放射線課 石橋 正久

昨年はインフルエンザも大流行せず良かったですが、これからは何かあったら吉祥院病院と思われるようにがんばります。

外来師長 柳 しのぶ



新任医師のご紹介



昨年の11月より赴任されました池野文昭先生をご紹介します。第二中央病院副院長、あすかい診療所所長などを歴任されてきました。ちなみに三浦先生とは学生時代からの旧知の間柄です。専門は循環器です。外来は月曜日の夜を担当されます。病棟や往診も担当されます。みなさんよろしくお願ひします。

2012年は市政も病院もリニューアル

吉祥院病院 清洲 早紀

明けましておめでとーございませう

今年もよろしくおねがいします

11月28日に橋下徹氏率いる大阪維新の会が大阪ダブル選に圧勝しました。

2008年に橋下氏が大阪府知事に当選した時から、弱者を上から目線で見下す彼の人格に私は怖さを感じていました。

敵をつくり出して突き進む彼のやり方は小泉純一郎元総理と似ています。

東日本大震災を契機に明日の見えない閉塞感が増します。このような時代背景の中で強いリーダーシップを求めた有権者が橋下支持に雪崩をうったのだと思います。

これは大変危険なことだと私は思います。誰か一人が全てを変えてくれることなどありません。こうした安易な考えが全国に波及することを私は危惧します。大阪維新の会の勢いと全国各地の新自由主義的な潮流が結びつけば国民の諸権利がはく奪され、社会保障も切り捨てられ、憲法が改悪され、自衛隊の海外派兵や徴兵制の制定など一気に暗黒の時代に突入する悪夢が待っていることを歴史は教えています。2012年2月5日投票の京都市長

選挙はこの国の民主主義が試される大事な選挙になると思います。前回951票差で届かなかった市政刷新でしたが、中村和雄候補の勝利で暮らしを守る防波堤となる市長を是非誕生させたいものです。

中村さんは水俣病や市民ウォッチャーなどの運動で知られる弁護士で、「切り捨て」「独裁」でやってきた橋下氏とは対極にある候補です。

中村候補は労働者派遣法の改正や最低賃金の引き上げを主張、また若狭湾に林立する原発の即時停止を求めて積極的な提言をされています。大手メディアが取り上げないこのような真面目な議論に多くの市民の方々に参加してもらい、地道な討論と運動を積み上げることが遠回りであっても独裁とファシズムを防ぐ最大の保障になると思います。

私たち吉祥院病院も2012年には病院の改装に取り組み予定です。2012年が少しでも明るい年になるよう地域の人々とともに歩んでいきたいと思っています。

1950年代
～
1960年代

荒廃と貧困の中からの出発

吉祥院病院は昨年創立60周年を迎えました。地域の人たちの寄付や貸付をはじめとした協力をもとに、病院の前身の吉祥院診療所が設立されたのが1951年12月3日です。今年は60周年事業としての位置づけもある病院のリニューアル工事が着工されます。そこでこれまでの吉祥院病院のあゆみをふりかえってみたいと思います。

＊

吉祥院診療所が設立された1950年代初頭は、戦後の混乱はようやく収まった時期でしたが、生活環境はまだまだ未整備で住人の健康を守り地域の健康を一緒に作ってってくれる医療機関が欲しいという声が高まっていました。そして市内を中心に多くの民主診療所と呼ばれる診療所が開設されました。

レッド・ページ[※]で大学や医療機関を追われた医師や学

※レッド・ページ
共産主義の思想・運動・政党に關係している者を公職や企業から追放すること。日本では昭和25年（1950）GHQの指令により1万数千人が追放された。（大辞泉「調べ」

※※
「やすらぎ会」などの患者会とともに進めてきた慢性疾患管理は、今でも病院の大切な活動の一つです（慢性疾患管理活動）。

生が地域住民や労働者と共に設立運動に取り組んで作った診療所群です。同様の運動は全国各地で起き、それらの医療機関は全国民医連（後に全日本民医連）に結集していきました。この民診設立運動には戦前に治安維持法に反対し右翼の凶刃に倒れた京都出身の代議士、山本宣治の遺志を継いで作られた無産者診療所の伝統がありました。そして

南区でも吉祥院診療所と九条診療所が相次いで設立されました。

吉祥院診療所は2代目所長となる岡本医師の自宅を改装して開設されました。1956年に井ノ口町の現住所に移転した後、1958年5月15日に20床の病院としてスタートしました。1960年代には地域に多かった中小企業の工場労働者の健康を守る活

動、労働環境の問題に取り組み、また糖尿病、高血圧などの成人病の対策を行なうようになりました^{※※}。

現在の病院の原形となる鉄筋コンクリートの建物となったのは1970年のことでした。1970年までの約20年間は病院のハードとしての建物、ソフトとしての医療活動の両面で現在の基礎を築いた時期といえるでしょう。



大坪 郁子さん

1953年入職。元吉祥院病院看護師。現在は地域の班会や「いつでも元気」の販売所担当として友の会を支えています。



地域の中でずっと育ってきた病院

京都大学の看護学校に通っていたころに、京大の先生に誘われて吉祥院診療所に手伝いに来ました。地域の患者さんの立場に立った医療を実践している姿をみて、京大病院とはぜんぜんちがうなあと思ったことを覚えています。看護学校を卒業して、本当は京大病院に就職するはずでしたが、吉祥院診療所が忘れられず、民診連（今の民医連）の事務局を訪ねて、吉祥院診療所で働かせてもらうことになりました。学生時代に入っていた「平和サークル」で知り合った民診連の先生たちの影響も大きかったと思います。

勤め始めたのは1953年。その頃は看護師であってもお薬を作ったり、会計をしたり、簡単な検査でも何でもしておりました。夜でも私の下宿先まで患者さんが来て、「診てやってくれ!」とたたき起こされることもありました。その頃は栄養失調の患者さんも多くて「水分と栄養あるもんって安静にしてたら治るよ」と言って帰って来ることもしばしば。診療所に通ってくる患者さんは、在日の人や日雇い労働の人が多く、健康保険の患者さんは本当に数えるくらいしかおられなかったです。

先生と一緒に往診にもよく行きました。当時、結核で亡くなる患者さんもけっこういました。結核に効く薬、ストレプトマイシン（ストマイ）は、週に2回打たないといけませんが、保険がきかなかったので、一本千円もするストマイはふつうは打ちません。そこ頃のお給料が1万円あったら多い時代でしたから。それが蜷川さんが知事になってから、保険が通った。たくさんさんの命が救われましたね。

1963年に発足した「やすらぎ会」^{***}で責任者をしていた時は、多い時で300名くらい会員さんがいました。患者さんのお宅をお借りして、先生に高血圧や脳卒中・心臓病の話をしてもらったり、日帰りレクリエーションで奈良に行ったり、地域

の運動会に参加したり…。職員も地域の人たちと仲良くなろうと一生懸命だった気がします。

朝昼夕晩、一日中働いていましたが、患者さんや地域の人たちと家族みたいに付き合っ、やりがいもあったし、今から考えると私自身もすごくいきいきしていたと思います。



吉祥院診療所があった場所。現在は民家に。

鍼灸治療所が広くてキレイになりました

吉祥院病院付属鍼灸治療所が11月1日より病院の隣接地へ移転し、改めて開設しました。今までは、狭かったために患者さんへご不便をおかけすることも多かったのですが、新しい場所へ移転し「広くなったね!」「キレイになったね!」



「明るくなったね!」と、みなさんから言っていたけりになりました。引き続き、地域のみなさんに愛される鍼灸治療所をめざしていきますので、どうぞよろしくお願いします。



編集後記

新しい年が明けました。皆様はどのように新しい年を迎えられましたか？ リニューアルに向けて本格的な歩みが始まりました。試行錯誤しながらでも地域に直結したより良い病院づくりに一丸となって進んでいく覚悟です。

先日テレビでエチオピアの気温50度の過酷な気候の中、長老以下一族25人で暮らす人々が紹介されていました。限られた水や食料を、まず一番弱い立場の幼児に与えその後一族が分けあって生きてきた。これがこの土地で暮らしてゆくものの掟であると話されていました。日本においても弱い立場の人々を支える社会制度の充実が社会を支える事に繋がるのでは？と考えをめぐらせていました。

寒さ厳しき折、皆様も御身、お大切にお過ごし下さい。末筆になりましたが、震災に遭われたすべての方々へお見舞いを申し上げるとともに復興へ向けて進んで行かれますように祈念いたしております。(荒)

記念講演では、元宜野湾市市長の伊波洋一さんが「基地のない平和な沖縄と日本をつくるために」というテーマで講演をされました。日本は戦争に参加する必要はないと思うし、金銭援助や軍事基地など必要ないと思います。また、騒音被害や墜落事故などに市民を巻き込むことはやめてほしいです。日本は軍事基地NO!と言える国であってほしいと思いました。

分科会では、「最期まで自分らしく生きることを支援する」という演題を発表してきました。「自宅へ帰りたい」という末期癌の患者さんの願いを実現するために、多職種チームで話し合いながら少しずつ条件を整備したこと。病気の進行でかなえることはできませんでしたが、「最期まで自分らしく過ごしたい」という願いに沿うためには、生活史を知っ

た上でご家族の心情を理解し、条件を整える必要があるということを学んだ経験を発表しました。患者さんやご家族が安心して最期の時を迎え、日々過ごせる環境が整えばいいと思います。集会のテーマでいわれているように過去・未来・現在と民医連綱領を実践し、未来にバトンを引き継ぎ、貧困・格差を克服できるような医療集団の一員でありたいと思いました。



外来看護課からも、フットケア外来の取り組みについてポスター発表を行いました



2011年
10月28日~29日

全日本民医連学術・運動交流集会

未来にバトンを引き継ごう



吉祥院病院3階看護課
星野 愛



「今をしっかりと生きていかねば…」 支え合い、励まし合うことの大切さ



床板をすべて剥がし、床下一面に溜まったヘドロを取り出し、海水に浸かった1階部分の壁も剥がしました。

宮城県最南部の町、山元町。(人口1万6695人、5561世帯) 671人が亡くなり現在も19名の方が行方不明です。家屋の全壊・半壊あわせて3267件。どの地域よりも亡くなられた方が多く、その原因として震災を知らせる警報器が壊れたままで、作動しなかったことが大きく影響したそうです。京都民医連は医学生や看護学生の奨学生も含む28名が参加し「Aさん宅のかたづけ」「保育所の引っ越し、仮設住宅の健康相談」「溝のヘドロ出し」と3班に分かれて作業しました。震災当日、Aさんは、子ども2人と祖母を車に乗せ避難途中、津波で流されながら、九死に一生を得たそうです。

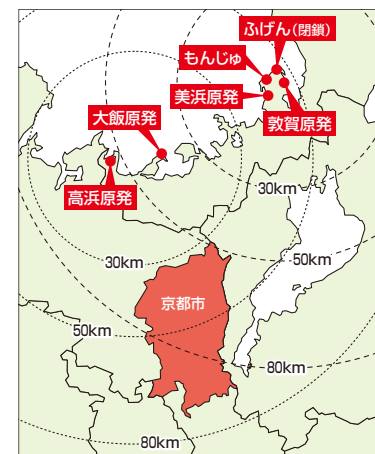
福島原発事故

政治の責任で早急に復旧・復興を

東日本大震災から間もなく一年です。被災者の方が、早く元の生活に戻れるように、政治の責任で復旧・復興を早急に進めるよう強く求めたいと思います。

福島市から京都市に避難を余儀なくされたある方が、「福島市は第一原発から60キロ離れているので安心だと思っていたが、体調を崩し、不安を感じ、職場やいろいろな人間関係を断って関西に避難してきた」「こんな思いは誰にもしてほしい」と話されていました。京都市は福井県若狭湾の原発群から80キロ圏内に入ります。もし事故が起これば、京都市も無関係ではられません。福島第一原発事故で不自由な生活を余儀なくされている方に、政府と東京電力の責任で補償をすることが大切です。併せて、日本の原発、本当に大丈夫か？原発に頼らない社会とエネルギー政策のあり方は？といったことが今年は問われてきます。

吉祥院病院組織課長 山路 卓也



若狭湾の原発(稼働14基)と半径80km圏内を示す図

祖父は畑を見てから追いかけると、帰らぬ人となったと話されました。働いていた、水産会社も休業状態、皆さんの支援や励ましに支えられ、今をしっかりと生きていかねばと語っておられました。この地域は、震災から5カ月もたつというのに、水道、電気などライフラインはめどがたっていない状態です。到底、支援だけでは解決出来ることなく国や行政の復興対策が急がれるとつくづく思います。

した。帰路、車中から見る広大な平野は、草が生い繁り、田畑は荒れたままです。海水にまみれた土地は農作物を作るのに時間がかかると言います。この土地に豊かな実りを迎えるのはいつになるでしょうか。Aさん家族や、仮設住宅で不自由な生活を余儀なくされている被災者の方々が一日も早く日常生活に戻るよう、継続的な支援がまだまだ必要です。

師長室 高谷 順子

外来診療体制のお知らせ



2011年12月現在

			月	火	水	木	金	土
朝	内科	1診	近藤	近藤	清洲	三浦	近藤	近藤
		2診	三浦	三浦	井上	近藤 (3診)	清洲	三浦
		3診		沢田		榎 (完全予約制)		
	外科	1診	加藤	谷村	倉田	倉田	鈴木	長岡
昼	内科	1診	近藤	近藤	三浦 (糖尿病)		近藤	
		2診	清洲	中野 (内科/産婦)1・3・5週				
	外科	1診					泌尿器科	
夜	内科	1診	沢田		中野		田中	
		2診	池野		細野		三浦	
		3診			沢田			
	外科	1診	有吉 18:30~		長岡		素輪	
		3診	泌尿器科					

診療体制の変更のお知らせ

11月より月曜日夜の梅本医師が池野医師に、金曜日夜の福岡医師が田中医師にそれぞれ変更となりました。

受付時間 朝 8:00 ~ 11:30
夜 16:30 ~ 20:00

診療開始は朝9:00、夜18:00
(月・金曜日の夜の内科は17:30)

診療体制は事前に告知なく変更する場合があります。ご了承ください。

◎昼は予約制の診療です。事前の予約をお願いします。朝・夜は一部が予約制です。予約に関することは「予約・相談コーナー」でお尋ねください。

◎内科の急患の方(16歳以上)は、朝8時から夜9時まで、受付時間外でも診療します。

○特定健診は医療保険者が行う健診です。健診を受けるためには医療保険者が発行する『受診券』と『健康保険証』が必要です。

対象となる方	対象年齢	自己負担額
①京都市国民健康保険	40 ~ 74歳の方	保険者により異なります (①京都市国保は500円)
②被用者保険者の被扶養者(家族)※		
③国民健康保険組合※		

※②被用者保険と③国民健康保険組合は受診いただけない医療保険者があります。病院窓口または電話にてご確認ください。

上記の健診制度の対象でない方も、吉祥院健康友の会の健診など受けていただける健診制度がありますので、当院健診担当者までお問い合わせください。

連絡先：保健管理課 電話075-691-6473 (直通)

○京都市民の方が受けていただける健診

京都市国民健康保険の特定健康診査とほとんど同じ内容です。対象になる方には京都市から案内がとどきます。

対象となる方	自己負担額
④京都市民の後期高齢者医療の被保険者	負担はありません
⑤京都市民の生活保護受給者	



公益社団法人 京都保健会

吉祥院病院

〒601-8314 京都市南区吉祥院井ノ口町43
TEL 075-672-1331
FAX 075-691-3477
<http://www.kissyouin-hp.org/>



交通のご案内

●公共交通でお越しの方

JR 西大路駅徒歩 7 分
市バス「西大路九条」下車
南西へ徒歩 5 分
市バス「吉祥院車道町」下車
南東へ徒歩 5 分

●お車でのお越しの方

西大路九条の交差点を西へ
1つ目の信号を南へ 200m
病院の南西方向に駐車場があります

